

(別紙4(2))

事業所名 愛の家グループホームみずほ

作成日: 令和6年5月7日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	急変や事故による受診対応を行ったことがない職員が多く、決まった職員が対応している。万が一を想定し、受診対応が出来る職員を増やさないといけない。	1年以上勤務している職員で、半数は受診対応が行えるようにする。	定期的に受診に行かれる利用者様の受診時に同席をさせていき、基本的な流れを教えていく。また、事故による受診があった際も、状況にもよるが、同席をさせていく。受診時のマニュアルを作成し各ユニットに用意する。	12ヶ月
2	31	便秘の利用者様が多く、1週間以上排便が出ない事も多々ある。坐薬・看護師による浣腸や摘便が必要な方がおり、トイレでの排便が困難。パット内で便をされる事も多々ある。	坐薬・浣腸・摘便での排便を無くし、下剤の服薬や運動する事で、トイレでの自然排便を増加、便秘の改善または、便秘日数の間隔を短くしていく。	液体タイプの下剤で、滴下数を微調整しながら、排便状況を把握し、毎週職員と意見交換を行う。何日目から何滴入れるか分かるように可視化をし、便秘に効く体操や運動を行うことで、便が出やすい腸内環境にする。水分1,500ml以上摂取。	12ヶ月
3	22	新人職員の研修や実際の看取り対応になった際、支援内容・方法等の共有を行う必要がある。また、看取り時の注意点や家族様への配慮の仕方も伝える必要もある。	新人職員を含めた全職員が、フォローしながら看取りケアに取組めるようにしていき、看取り後の振り返り等を行うことで、支援の幅を広げて行ける体制にしていく。	ホーム内研修や、看取り入る前に事前研修を行い、職員がすぐにでも取組めるように定期的な研修を行う。新人職員においては、看取り内容の共有や、研修を何度か行うことで、自信をつけれるように教える。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。